

事業目的

刑務所出所者等の中には、更生意欲があった場合でも、様々な課題から地域社会になじめず、孤立し再犯に及んでしまう者がいることから、心の居場所も含めた居場所の確保を進めるとともに、県民が更生意欲のある刑務所出所者等を受け入れる意識の醸成を図り、再犯防止を推進する。

事業内容

1. 孤立防止事業

(1) 見守り支援【再委託：受託者 更生保護支援ボランティアふれあいサークル】

矯正施設出所者のうち、身寄りがいない高齢または障害者に対して、各対象者に月1回程度の見守り支援を実施した。

(2) ボランティアの資質向上及び活動の裾野拡大【再委託：受託者 同上】

ボランティアなどの関係団体や一般県民が、罪を犯した人の精神的な支えや孤立防止の意義や、罪を犯した人たちに必要とされている支援について考える再犯防止推進セミナーを開催し、再犯防止に繋がる取組の更なる浸透と推進を図った。

2. 住居確保事業

(1) 入居を拒まない住宅の登録促進

保護観察対象者を含む住居確保要配慮者の入居を拒まない住宅を増やすため、「住宅セーフティーネット制度」の登録制度等について周知し、登録促進を図った。

(2) 住居相談対応

横手市住居支援協議会、秋田地方検察庁、秋田保護観察所等が連携し、矯正施設出所者等と住居の個別マッチングを図った。

3. 再犯防止対策の広報啓発事業

(1) 再犯防止啓発ハンドブック等の作成【再委託：受託者 (株)ディーノ】

「秋田県再犯防止推進計画」の紹介や、罪を犯した人の立ち直り支援の必要性や意義等について周知するためのハンドブック及びポスターを制作・配布した。

(2) モデル事業報告会【再委託：受託者 更生保護支援ボランティアふれあいサークル】

県と本事業の再委託先である更生保護支援ボランティアふれあいサークルが、再犯防止推進に向け実施した取組について関係団体や県民に対して報告し、取組への理解と協力の促進を図った。

(3) 駅前街頭活動【再委託：受託者 同上】

再犯防止関連グッズ等(ウェットティッシュ、サークルの活動紹介チラシ、セミナーチラシ)を配布し、1(2)のセミナーへの参加と再犯防止への理解と協力の促進を図った。

※上記の他、秋田県再犯防止推進協議会を開催し、関係機関との連携体制強化を図った。

活動指標

分類	活動指標の名称	単位	区分	R1年度	R2年度	特記事項
1(1)	見守り支援対象者数	人	目標	3	8	
			実績	3	4	1月末時点
2(2)	住居確保相談件数	件	目標	1	3	
			実績	1	1	1月末時点
3(2)	モデル事業報告会参加者数	人	目標	—	100	
			実績	—	147	1月末時点